

実践事例発表レジュメ

研修・研究事業名	社会教育主事講習[A]
実践事例名(テーマ)	～地域連携による支えあう地域づくり～ 大島クリスマスふれあいコンサート
事業主体(実施機関)	大島クリスマスふれあいコンサート実行委員会
連携・協力機関等	青少年健全育成大島地区協議会、社会福祉協議会、大島地区 明るいまちづくり推進委員会、大島小学校、郡山第五中学校、 郡山第六中学校、大島地域公民館MEN'S CLUB
発表者	郡山市立大島地域公民館 主事 國分 いつみ

期日 2019/7/28

内 容

「大島クリスマスふれあいコンサート」のきっかけと概要

大島クリスマスふれあいコンサート(以下、クリスマスコンサート)は、「音楽の力で地域を明るく盛り上げていこう」をスローガンとした地域・学校協働参画型のイベント事業である。開催のきっかけは、「地域の声」と「時代の風」。「地域の声」とは、公民館来館者の何気ない会話「地域に活気に活気がない」「若い世代との交流がない!町内内にも入らない!」などの生の声、「時代の風」とは、全国的な課題である「町内会やPTAに入らない問題」など、現代を象徴した「人間関係の希薄化」という冷たい風と、郡山市が行った「音楽都市宣言」という暖かい風である。郡山市は、かつて、発砲事件が相次ぎ「東北のシカゴ」と呼ばれた時代の中、「音楽の力で街を変えていこう」という考えから、市内の至る所で音楽を奏でる「コーラス運動」を行い、今では「東北のウィーン」と呼ばれるまでになった。こうした先人の偉業を「音楽都市宣言」で再確認する中で「何か楽しいこと」「大島らしい、地域の誇りに繋がること」そして、「問題解決に繋がること」そんな思いから、クリスマスコンサートが生まれた。

クリスマスコンサートの運営方針は、①地域振興を促すため「実行委員会を組織し機能させる」②若い世代との交流が図られるよう「小中学校の合唱・合奏を中心に企画立案を行う」③「ボランティアを公民館事業で育成し、クリスマスコンサートと連携させる」④「大島地域の小中学校の音楽技術の向上を地域ぐるみで応援する」としている。

まず、公民館が地域組織と小中学校と連携して、実行委員会を立ち上げ、主催事業である「MEN'S CLUB」などでボランティアを育成し、募集した中学生のボランティアと一緒にコンサート・ボランティアとしてのコーディネートを行う。また、演奏者である小中学校の円滑な練習のため、公民館利用者に協力を呼びかけ、児童・生徒のために公民館の貸室を確保し提供します。こうした地道な取り組みが、地域住民の地域貢献や児童・生徒への応援の気持ちを育み、地域連携による特色あるコンサート事業を醸成していった。

成果としては、実行委員会にはクリスマスコンサートの成功。公民館には事業の活性化。小中学校の児童・生徒には、地域への感謝とコンクール等からの対外評価という実績。ボランティアには、地域貢献という充実感が残り、すべての成果は、「大島コミュニティの活性化」へと繋がっている